



## 宮城県日中友好協会

〒981-0931 仙台市青葉区北山 2-5-1-103

TEL・FAX 022-274-3811

E-メール jcfa-miyagi@rose.plala.or.jp

ホームページ http://www16.plala.or.jp/miyagikenn/

8月、(葉月 はづき)。大阪で開催されたG20ではパンダの事が話題になりませんでしたでしたが、競争相手が増えたようなのでやきもきしています。来春、習近平主席が国賓で来日するときにお土産話として話がで、仙台にということになれば万々歳なのですが、来年の話をするとう鬼が笑うとのことなので、来年を3頭のパンダと共に楽しみにしたいと思います。

### 1. 8月の行事

日 時	行 事 名	場 所
8月 7日(水)	ゆかたまつり 11:30～着付け、抹茶体験、七夕見学等	にしむら呉服店
8月31日(土)	1) 宮城県日中友好協会定期総会 13:30～ 2) 懇親会(定期総会終了後) 会費: 4000円(会場の定員は40名位ですので申し込みは早めをお願いいたします)。	1) 仙台市市民活動サポートセンターセミナーホール 2) 長城 (022-264-6658)

※ 各地区協会・委員会の行事報告等あれば掲載いたしますので、ぜひFax, メール等でお知らせください。

### 2. 第8回中国語講座を終えて (石巻地区日中友好協会)



当協会の主要事業の一つである中国語講座を開設しようとの白井会長の強い意志があり、断れきれなかったのでしょうか、韓劉培霞理事の中国料理雲雀の休みの日に開設と決まり、日曜の18:30から20:00まで開設。中国料理雲雀さんのポスターを見て4人位、石巻かほく、石巻日日新聞掲載を見て、木村理事長のホームページを見てとか24名の方々の申込がありました。また、石巻市役所地域振興課の兵庫県派遣職員の内海伸浩主幹の手配により石巻市かわまち交流センターの使用料も駐車料も無料にさせていただき、新しい素晴らしい部屋で受講する事が出来ました。仲の良いご夫妻・親子で2組等、皆熱心に勉強し感動しました。10回4名、9回5名、8回6名と荒健夫担当理事の出席表で見ると感心致します。教え方も抜群で、皆様の上達も早かったような気がしました。初日20名、最終日19名出席と初め

での事です。御礼の意味も込めて5月18日に中国料理雲雀で反省会には16名も出席で、中国語を学ぼうとする方々がこんなにも多くいるのかとの思いでした。従来は石巻専修大学留学生の方にお願ひし受講料を全額差し上げておりましたが、講師先生には大変ご迷惑をおかけいたしますが中国語勉強を希望する方々を最優先にする時代に入っている感を強くしました。令和2年も3月から開始しようと計画しております。

### 3. 令和元年度石巻地区日中友好協会定期総会・懇親会を開催 (石巻地区日中友好協会)



6月2日(日)16:00～石巻グランドホテルで冠行事、中華人民共和国建国70周年記念として開催。木村正幸理事長の進行で白井省三会長挨拶、祝辞に、亀山紘市長、殷達奇駐新潟副総領事(肖勤経済商務領事も出席)、尾池守石巻専修大学長、江幡武宮城県日中友好協会名誉会長と頂戴し、議長に木村裕一理事のもと、2018年度事業報告・収支決算報告・監査報告と2019年度事業計画・収支予算報告が承認され、役員改選では、加賀剛理事が副理事長に、堀川禎則副理事長が顧問に就任。記念講演は「広東船の漂着と旧北上町の日中町民交流」と題し佐藤清吾郷土歴史研究家の講演、1796年(寛政8年・今から223年前)14名の人々が漂着、石巻を去るに当り乗組員一同を代表して陳世徳は「大深恩の天の如く大なるを知らなん」と。皆

の大恩に深く感謝して無事祖国に帰れる喜びを謝辞としました。いい人が多かったんですね。感動です。懇親会は斎藤敏子副会長の司会で、門脇政喜副理事長の乾杯で和やかな懇親会、今年は仙台の日本語学校を卒業して石巻専修大学に入学された中国人一年生3名の方々を招待出来ました。また、第8回中国語講座に出席された4名の方々も出席され、皆で自己紹介しながら和気あいあいと懇談、菅原健二副会長の閉会の挨拶で中華人民共和国建国70周年記念の意義を大きくとどめる定期総会・懇親会となりました。

#### 4. 「知っておきたい身近な法律」(女性委員会)



去る6月6日(木)第33回女性委員会総会が開催されました。2018年度の事業並びに収支決算報告、2019年度の事業・予算・役員改選・会則改正(何れも案)等が中村議長のもと円滑に進められ全ての議案が承認されました。

総会に引き続き、弁護士の藤田紀子先生を講師に「知っておきたい身近な法律」と題したお話がありました。全員を対象に「遺言と相続」のお話の後、藤田先生を囲み、大勢の中では口にし難い事でも少人数なら気軽に質問が出るのではと、少人数で作ったグループを先生に回って頂く質問タイムを取りました。お茶と駄菓子を中に、どの質問にも先生は真剣に、ソフトに、フレンドリーに応じて下さり、会員は元より会員以外の参加者からも大好評を頂く事が出来、当初は一風変わった講演会の企画に迷いはありましたが講演後、女性委員会に入会希望する声もあり楽しく充実したひと時を手にする事が出来ました。

#### 5. 「定期総会」からスタートしました(富谷市日中友好協会)



第24回定期総会が6月23日午後、町上会館で行われ、若生裕俊市長、安住稔幸市議会副議長、県協会の武智英生理事、県女性委員会の瀬戸加寿子事務局長に出席いただきました。中山耕一会長から一年間の御礼と故田中事務局長への追悼、後任の事務局長に横山弥生・副会長が、理事に金子透さんが就き、紹介されました。議案の審議では前年度の活動報告と決算・監査報告及び、今年度の活動計画(7月のブルーベリー交流や10月の街道まつり参加、11月の写真展開催等)及び予算が承認され、明年記念すべき第25回総会へ出発しました。

この後、武智県理事から「パンダよもやま話」と題して大熊猫(ジャイアントパンダ)の体の大きさ、繁殖期、食べ物、寿命や受け入れられるために必要な準備等の話の他“パンダの黒い部分は何か所?”等のクイズ、質疑応答もあり、“八木山動物公園への誘致を皆の応援で”との思いを深くできた、楽しい時間となりました。また全員で記念撮影(写真⑤)した後、懇親会も行われました。役員として応援いただきました皆さん、大変ありがとうございました。

#### 6. 令和元年度「通常総会」開かれる(大崎市日中友好協会)



7月15日、14:00~古川グランド平成で、来賓の伊藤康志市長、水戸雄二宮城県日中友好協会理事長、菊地恵一県議員、加藤善市市議員、東北大学中国学友会劉子劍副会長、張麗娜学術部長、王臣理事をお迎えして、鈴木寿郎会長の挨拶で令和元年度通常総会が開かれました。村田次男副会長が議長に選出され、菅井富士夫事務局長が平成30年度の活動報告(通常総会並びに懇親会、多文化共生シンポジウム、訪中旅行、新春の集い等)、収支決算報告、監査報告、令和元年度活動計画(案)、収支予算(案)を提案し、審議した結果満場一致で議案は承認されました。

懇親会では大崎市在住の詩吟正師範の大橋澄岳、準師範の幸頭英風両氏による吟詠(詩文:頼山陽作「不識庵幾山を撃つ凶に題す」、西道仙作「城山」、河野天籟作「祝賀の詞」、松口月城「名鎗日本号」、本居宣長「山ざくら」、山本有三「心に太陽を持って」)が披露され、恒例の鈴木会長、武智宮城県日中理事による阪神タイガース応援歌「六甲おろし」の斉唱でお開きとなりました。

- ※ ①宮城県日中友好協会のお盆休みを8月13日~16日まで取らせていただきます。19日~仕事を始めます。
- ②総会の案内文を同封いたしました。総会・懇親会への出席についてお伺いいたしますので、早めに連絡していただければ幸いです。